

## はじめに

寒い日が続きますが、みなさまいかがお過ごしですか。

1月14日金曜日、都市政策資料室主催ミニセミナーを開催しました。

講師は山下永子主任研究員で、テーマは第10回目の「都市をよく知ろうシリーズ メルボルン-選ばれるための都市戦略-」でした。多くのご参加、誠にありがとうございました。当ミニセミナーの配布資料、テーマであるメルボルンやオーストラリアの資料、また、講師の山下主任研究員の行った調査報告書(最新版IRBCの報告書もあり!)や著書、関連の新聞記事などを資料室入り口正面に展示していますので、この機会に是非ご覧ください。

## お知らせ

### ① アジア太平洋都市サミットコーナー開設!

資料室内にアジア太平洋都市サミットのコーナーができました。同サミットについて理解を深めていただくため、これまでの市長会議や実務者会議の報告書や、会員都市の情報、今後の会議開催都市の情報などをわかりやすく、楽しく展示しています。是非一度のぞいてみてください。

### ② 情報プラザ内「本の返却ポスト」2月1日火曜日スタートに向けて準備中!

都市政策資料室の貸出資料が、情報プラザで返却できます! 情報プラザ内に当資料室専用の「本の返却ポスト」を設け、情報プラザが開いている時間ならいつでも返却を受け付けられるようになります。2月1日火曜日スタートをめざし、ただ今準備中です。もうしばらくお待ちください。

このタイプで、色はグリーンです!→



## 今月のおすすめ

### 「環黄海における国境を越えた都市間協力-OECD地域レビュー」 (国土交通省国土交通政策研究所 2010.11発行)

本書の原著である「OECD Territorial Review:『Trans-border Urban Co-operation in the Pan Yellow Sea Region』」の存在を知ったのは、昨年春、他ならない本書の著者の一人である、石垣和子氏(国交省からOECDパリ本部出向・当時)から、URCの2008年度報告書「福岡・釜山圏における日常交流圏の形成に関する研究」の内容の一部を本書へ引用したいとの連絡を受けたからである。その後、英文の原著がOECDより送られてきたが、この度、国交省交通政策研究所より本書が翻訳、刊行されるに至り資料室が贈呈を受けた。

本書の背景には、世界的に国境地域が国家の中心部から遠く離れた周辺部に位置しているため、発展が遅れていると言いつつ概念から、今日のグローバル化する市場において、国境が障壁より架け橋として再定義され、国境地域の重要性が再認識されている趨勢がある。特に、周知の通り、欧州では国境を越えた都市・地域間の連携、協力が活発化しており、欧州のほとんど全ての接境地域が国境を越えた協力活動に関与しているとされる。

本書は、こうした欧州内の国境を越えた都市間協力に関する既存のOECD地域政策報告書の先行研究から得られた知見をふまえて、九州と、経済成長著しい韓国の南・西海岸地域、中国北部の環渤海湾地域を包括する環黄海圏における国境を越えた都市間協力のあり方について、提言を試みている。

ここでは、本書の構成をもとに概要を述べたい。まず、第I章「環黄海圏における国境を越えた協力の動向」では、居住人口・約2億6千万人、地域内総生産・約1兆5千億ドルを有する環黄海地域の歴史・地理的な定義、社会・経済指標、福岡を含む域内の10大主要都市の概要について整理し、同地域は、広範囲の製造業、輸送ネットワークによって、東アジアで最も急速に成長した経済圏の一つと分析している。

次に、第II章「環黄海圏における国境を越えた協力の強化」では、環黄海圏の生産ネットワークを分析し、地域内の過当競争と不十分な協力によって経済統合の深化が進んでいない課題について指摘した上で、域内のハード(交通輸送)とともにソフト(社会・文化的)のネットワークと環境協力の3分野の強化の必要性について提言している。

さらに、第III章「国境を越えたガバナンスの構築」では、まず、環黄海圏3国の全体的なガバナンス構造、国境を越えたビジョンを分析した上で、福岡市や福岡・釜山の取り組みも含め、具体的に各国の中央政府と地方政府間の国境を越えた協力に関する戦略や取り組みの概要について述べている。その上で、地域内の二極間、多極間の都市連携プログラムを分析し、現在の環黄海圏内の国境を越えたガバナンスの枠組みの評価について、未だ脆弱な段階であり、統一された共通のビジョンの共有、経済的相互補完性の活用、社会的経済的多様性への理解、共同事業の推進に各都市が取り組むことの必要性とともに、各国の中央政府の努力の重要性を指摘している。

質量ともに充実し、内容の全てを読み、十分に理解するためには、膨大な注釈やコラム、付録補論に目を通すことを含めて、相当な時間を要するが、それだけに非常に読み応えがあり、研究者や政府機関、自治体等の国際関係諸政策担当者のみならず、韓国、中国との交通運輸、観光、交流事業等に関わる関係者においても資するところが大きいと思われる。

((財)福岡アジア都市研究所 研究主査 新井直樹)

ご希望の資料がございましたら ご連絡下さい。TEL:092-733-5707 FAX:092-733-5680 E-mail:library@urc.or.jp

その他の資料につきましては当研究所ホームページ内 (<http://www.urc.or.jp/>) の蔵書検索をご利用下さい。

\* 利用案内/場所:福岡市役所北別館6F 開室:月曜日~金曜日 10:00~17:00 \*月末業務日はお休みです。

貸出:1人5冊まで 2週間以内(貸出には身分証明書が必要です。)

1月31日(日)は休室です。

1月31日(日)は休室です。

1月31日(日)は休室です。